

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）
令和4年度採択テーマ
事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合 評価
土砂・流木貯留施設の計画立案を支える洪水氾濫・土砂・流木一体解析モデルの構築 (研究期間：R4年度～R6年度)	阿南工業高等専門学校創造技術工学科 准教授 長田健吾	A
<p><研究概要></p> <p>山地河道で生じる土砂・流木複合災害を再現可能であり土砂・流木対策工の計画立案を支える洪水氾濫・土砂・流木一体解析モデルを構築する。土砂・流木の氾濫・堆積に関する2つの基礎実験を実施し、解析モデルの再現精度を明らかにする。また、乙石川遊砂地について検討された模型実験および赤谷川流木災害への適用を行い、解析モデルが実用面でどの程度の能力を有するか明らかにする。さらに、トラブルスポットの抽出に対して第一段階の危険度判定に役立つ資料として、流木堆積割合分布を提案する。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>本研究では、研究者らが構築した洪水氾濫、土砂流出、流木流出を一体的に解析する数値計算モデルについて、水路実験や既往災害データ等を用いた検証を通じ、一定の適合性の確認や課題の抽出が行われた。これは施設計画・設計の参考となる成果であると大いに評価出来る。</p> <p>今後は、まだ再現精度が十分とは言えない部分があるなど、抽出された課題解決に向け、水路実験による検証、実河川への適用の検討等を進め、構築した数値計算モデルの更なる精度向上と実用化を図っていただきたい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い